

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

中学校区におけるめざす子ども像
自らの課題に気づき学び続ける子

令和7年度 重点目標
○自らが学びに向かう力を持たせる
○体力向上と健康の保持増進を図る
○指導方法の工夫改善をし、表現力を豊かにさせる
○校區におけるめざす子ども像を共有し、小中一貫教育を充実させる
○学びの先にある社会で、力強く生き抜く力の醸成を図る

「確かな学び」の現状
アンケート・調査等から、「総合学力プロフィール」の領域区分において昨年度の同学年比較で同様の結果がみられた。「教科学力」では知識・技能や主体的に取り組もうとする態度、「学びの基礎力」では学びの意味を見出し自ら学ぼうとする力や学びを律する力が伸び、「社会的実践力」では、問題を発見し解決しようとする項目の伸びが良好な傾向となっており、生徒は授業に前向きに取り組んでいる。GIGAスクール構想のツールを用いた授業や持ち帰り活用等の取組については、さらに充実を図ることが重要である。

「豊かな心・健やかな体」の現状
豊かな心をはぐくむ「特別の教科道徳」では、生徒は自己を見つめ、物事を広い視野から考え、人としての生き方についての考えを深めてきており、「総合学力プロフィール・社会的実践力・豊かな心」の調査設問から「人の役にたつ人間になりたいと思う」生徒は多い。また、保健体育の指導や部活動、体育大会等の行事により健やかな体づくりを進めることができています。一方で、「コロナ前と比べた運動やスポーツする時間は減った」と回答した生徒は半数を超えており、運動機会の確保は課題である。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～12月)	達成状況(年度末)		
								自己評価	学校関係者評価	
確かな学び	学力向上	学びに向かう力を高める	★授業規律を確立させ、ねらいと見通しを立てた主体的な学び	肯定的評価を80%以上にする	学校教育アンケート 参観授業・実践報告	毎学期 年度末	◎ 12学期ともよく達成されている。	◎	◎ 生徒の学校教育アンケート(以下、アンケート)「チャイムが鳴ったら着席して、授業を受ける準備ができています」の肯定的回答は90%。「一人1台の生徒用パソコンを授業や家庭で効果的に活用できている。」は73%。内容も含め、よ効果的な家庭学習支援のあり方について検討していきたい。	
			自主的な家庭学習習慣の形成を促す課題設定と点検・評価、パソコンを活用した家庭学習支援	肯定的評価を80%以上にする	学校教育アンケート	毎学期 年度末	○ 概ね達成されている。	○		
	授業改善	指導方法の工夫改善をし、表現力を豊かにする	●主体的・対話的で深い学び(言語活動の活性化)を取り入れた授業形態の工夫、表現機会の充実 ●パソコンを活用して考えを深め、広げる授業の研究・校内研修・研究協議の推進 習熟度別少人数授業や個に応じた学習支援など、きめ細かな指導の推進	授業の中で発言する機会が多いと答える肯定的評価を80%以上にする	学校教育アンケート 参観授業・実践報告	毎学期 年度末	○ 概ね達成されている。	○	◎ 生徒アンケート「自分の考えをまとめたり、発表することがよくある」71%、「私は授業に集中して取り組んでいる」90%、「先生は教え方を工夫している」91%、「少人数授業はわかりやすい」86%。職員アンケート「授業の中で質問・発表の機会を設けている」88%。ICT活用とともに、さらなる表現機会の充実を図りたい。	
豊かな心・健やかな体	心の教育の充実	学びの先にある社会で、力強く生き抜く力の醸成	●いじめを許さない仲間づくり、ちがいを認め合う教育の推進	人権教育・生活指導の充実を図り、肯定的評価を90%以上にする	学校教育アンケート 教育相談・調査報告	毎学期 年度末	◎ 文化活動発表会などの行事や学活の時間を通して、仲間づくりを進めた。	◎		◎ 生徒アンケート「先生はいじめや悩みの相談などにきちんと取り組んでいる」90%、「学校は進路についての情報をよく知らせてくれている」96%、「豊かな心、平和、人権について学ぶ機会が多い」89%。保護者アンケート「子どもたちは道徳心や社会性を身につけ正しい行動ができています」63%。仲間づくりや社会性を育むため、授業のほか、行事や生徒会活動の充実を図りたい。
			★社会性を身につけ、生きる力をはぐくむキャリア教育の系統的実践	肯定的評価を80%以上にする	学校教育アンケート 参観授業・実践報告	毎学期 年度末	○ 概ね達成されている。	◎		
			●豊かな心をはぐくむ「考え、議論する」道徳教育の深化充実	体系的な学習やキャリアパスポートを活用し、自己肯定的評価を高める	学校教育アンケート 参観授業・実践報告	毎学期 年度末	◎ 12学期ともよく達成されている。	◎		
地域協働	相互連携	校區におけるめざす子ども像を共有し、小中一貫教育を充実	「総合的な学力」をはぐくむ小中連携した教育活動の推進	小学校との連携した教育や授業実践で、肯定的評価を80%以上にする	学校教育アンケート 小中合同実践報告等	毎学期 年度末	◎ 12学期ともよく達成されている。	◎	◎ 職員アンケート「小中合同研修会等により相互交流や共通理解が深まっている」87%。保護者アンケート「学校・学年により、HP、メール等で教育活動をよく知らせている」75%。合同研修会の内容充実を図ってほしい。	
			地域コミュニティの核をなす学校からの確かな情報発信	随時、学校ホームページや学校・学年によりなど情報発信に努める	学校教育アンケート 各地域会合報告等	毎学期 年度末	◎ 学校ホームページやテトル配信により、情報発信することができた。	○		

校長より(年度末)
「確かな学び」職員は教え込む授業から生徒が考える授業への転換、授業形態の工夫やICT活用により授業改善を続けており、授業観察においても積極的に発言・発表する生徒も多く見られた。生徒が自分の考えをまとめた上で、他生徒と共有し、さらにその内容を高め、それを認め合う機会を増やしたい。「豊かな心・健やかな体」学年や学校行事を中心に仲間づくり、職業を深く知るキャリア教育、工夫した道徳授業や日常の声掛けや教育相談、体育大会や文化活動発表会等を通して生徒の心を育む取組を行った。生徒アンケートから評価できるが、今後もさらに充実させ、他人の立場を理解し、違いを認め合い、協働できる生徒を育てていきたい。

学校関係者評価者から(年度末)
○青少年健全育成については、地域、小中間の連携を密にしていきたい。
○寒い時期なので、子ども達を見かけることも少ないけれど、校区内では落ち着いているようです。これからもよろしくお願ひします。
○学習面や体力づくり、仲間づくりなど様々な取り組みが行われていると感じる。一方で指導時の言葉遣いや伝え方、また安全に関わる出来事の情報共有については気になる点もあった。

